

堅山南風 素描展

— 熟視写生の描線 —



平成29年
12月18日(月) — 1月27日(土)
平成30年

開館時間：9時30分～16時30分

休館日：日曜・祝日・年末年始(12/31—1/3)

観覧料：無料

主催：株式会社肥後銀行

公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金



肥後の里山ギャラリー

〒860-0017 熊本市中央区練兵町1番地(肥後銀行本店1階)

TEL 096-326-7800 FAX 096-326-7755

<http://www.mizutomidori.jp/gallery/>

《ウ》個人蔵

《モクレン》個人蔵

大正・昭和を代表する日本画家堅山南風の画業は、写生に始まるといっても過言ではありません。南風は、故郷熊本の江津湖周辺での取材をきっかけに堅実な写生主義に基づく花鳥画の世界に画境を開いて以降、写生を通して自然と向かい合うことを制作の大きな指針としていました。「熟視写生」と評された、その徹底した観察と研究による描線は、自然界を彩る花鳥静物の魅力をありありと描き出します。

本展は、南風が残した作品の中から、自然物の写生に立脚した素描作品と、『日本談義』『東火』といった熊本の地方雑誌を飾った表紙絵を展示し、日本画壇の巨匠堅山南風の原点に触れる機会とするものです。水と緑豊かな熊本に生まれ、自然をこよなく愛した南風の強く優しい眼差しを通して、美しい花鳥画の世界をご堪能ください。

堅山南風素描展

— 熟視写生の描線 —



「写生は自然に親しみ、その美しさよさを
吾が心の中に仕舞込むもの」—— 堅山南風

画家略歴

堅山南風

明治20年(1887) — 昭和55年(1980)

熊本市坪井出身。壺川小学校卒業。大正2年(1913)に文展に出品した《霜月頃》が横山大観に絶賛され、初入選で二等賞を受賞。それ以降、大観に師事し、写生を基礎とした花鳥画や肖像画に新境地を開いた。晩年は、日光東照宮輪王寺薬師堂(本地堂)天井画《鳴龍》の復元なども手掛けている。

昭和43年(1968)、文化勲章受章。

昭和55年(1980)、93歳で死去。

© Hisako Katayama2017/JAA1700099



《タケノコ》個人蔵



《ハヤ》個人蔵



《ウツギ》個人蔵

催し

【ギャラリートーク】

平成30年1月13日【土】 13:30 ~ 14:00 申込不要



肥後の里山ギャラリー

【所在地】〒860-0017 熊本県熊本市練兵町1番地 肥後銀行本店1階

【お問い合わせ】Tel096-326-7800 Fax096-326-7755

【URL】<http://www.mizutomidori.jp/gallery/>

【開館時間】9:30 ~ 16:30

【休館日】日曜・祝日・年末年始(12/31—1/3) 【観覧料】無料

【交通】熊本市電「辛島町」電停より徒歩1分

路線バス「熊本交通センター」バス乗降場より徒歩3分

